

**留学先国名** : カナダ

**留学先学校名** : The University of British Columbia

**留学期間** : 平成 28 年 9 月 1 日 ~ 平成 32 年 4 月 30 日

日本の慣れ親しんだ土地と環境を離れて、外国の全く新しい場所に住むということに慣れるのに色々な面で大変な一年でした。

まず人間関係の面です。家族や友人と離れてみて初めて、当たり前だと思っていたものがあったのだと気が付きました。大阪で通学していた高校は比較的小さな学校だったので、友人も作りやすい環境でしたが、ブリティッシュコロンビア大学は約 5, 6 万人の学生が通うマンモス大学でした。だだっ広いキャンパスを多くの学生が行き交う中で、自分がどこに所属しているのか分からず、友人がなかなか作れず精神的に不安で孤独感を味わった時期が長かったです。留学する際、大学の規模について考えておくのは必要だと思いました。

その土地の気候というのも大事な側面です。ブリティッシュコロンビア大学があるバンクーバーという都市は雨の日が多く辛かったです。ちなみにキャンパスを授業で歩き回るのに長靴は必須です。毎日が雨というのは、どれほど精神的にも影響するのを実感しました。特に、なじみずに不安や寂しさ、ホームシックになっている精神状態を更に悪化させたように思います。

キャンパスの寮では二人部屋で生活しました。ルームメートは韓国系のカナダ人の学生でとても親切な人で助かりました。個人で使えるキッチンがなかったので、食堂のカフェテリアで食事したり店で買ってきたりしましたが、カナダの食事が目新しいのは最初だけですぐに飽きてしまい日本食が懐かしくなりました。運動には注意していたのですが、食生活のせいかわかりませんが体重は増えてしまい改めて日本食の良さを痛感しました。幸い二年目からはキッチン付きのアパート式の寮に入れたためこれからは自炊できるのが楽しみです。

一年の終わりごろにはようやく友人も出来はじめ、肯定的に生活を見られるようになりました。学業を深めるのはこれからのように思いますが、この一年で自分自身について多くを学べたと思います。自分は何が好きで何が好きでないのか、自分には思った以上に他人と一緒にいることが必要であることなど、自分を発見するのにとても大きな意味があった一年だったと思います。それはこれからの三年間を過ごす基礎となると確信します。